

1. 指定管理者名	一般財団法人 たじみ・笠原タイル館
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に関すること (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に関すること (3)観覧料・利用料金に関すること (4)減免対象者の利用に関すること (5)施設等の利用許可に関すること (6)その他の業務

採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点						
			②利用人数	5	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 上記(2)適用 平均値比(136%) = 利用人数(日平均)282人【R4】 ÷ 207人【R3】	105%以上 5点	R4年度入館人数 86,745人≪R3年度:56,457人≫ R4年度開館日数 303日≪R3年度:273日≫ 【1日平均 245人/日≪282人/日(R4年度)+207人/日(R3年度)÷2年】 ・体験工房利用者 18,626人(R4年度)≪11,171人(R3年度)≫ 開館7年目となり、2年目の平成29年度の入場者が最高値となり、その後は年々減少が続いているものの、開館前の想定を上回る入場者数であり、十分な実績を残している。 以前は、独創的な形状の建築と相まってメディアに多く取り上げられ来館者の増加につながったが、タイムリーな企画展、他機関等との連携により、モザイクタイルの魅力を伝えることで、来館者数の維持に努めている。 コロナ禍において、入場制限を実施しながらも、入館者数が増加したことは評価することができる。 今後、新たな企画や催事等を実施していく必要性について協議を進めている。	10点			
			(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点 ・企画展年間3本「タイル名称統一100年記念企画「タイル」までのプロローグー手わざの時代の陶磁製建築装飾」、「タイル名称統一100周年巡回企画「日本のタイル100年 美と用のあゆみ」、「タイルのまちをあるいてみた studio record」を開催。また、これら企画展に関わる様々な関連企画も実施。 ・体験工房では、ワンコイン工作(フォトフレーム等制作)を実施(利用者18,626人)。 ・リサイクルタイルのワークショップを開催。 ・タイル名称統一100周年事業として関連団体と連携し、企画展など様々な100周年事業を実施した。 ・その他、館外活動、他機関との協力、連携、収蔵資料に関する事業等を実施。 ・令和4年度は、コロナ感染拡大防止の為に感染対策を徹底し実施しつつ、徐々に客足も回復し7月には総来館者70万人を達成した。昨年度に引き続きコロナ禍で来館が不可能な方へ、YouTubeによる動画配信を実施。多治見北高等学校にて図書館講座を行い高校生がタイルに触れる機会を作り教育機関等とも連携し、幅広く事業を展開。 ・美濃焼ミュージアムと連携し、2館共通チケットを作成しPRを行い、共通チケットを合計約2500枚程を売り上げた	期待以上 15点	タイル名称100周年巡回企画展を常滑のINAXライブミュージアムと東京の江戸東京たてもの園と協力して企画を実施したり、たじみDMOとサイクリング企画を協同で行い笠原全体の誘客の一助を担う等、他との連携も積極的な取り組みを行っている。 美濃焼ミュージアムと連携し2館共通チケットを作成したことにより、お互いに普段は来ないような客層の獲得ができ、2施設を移動する中で、市内を巡回し他の場所も観光ができる流れを作りだした。企画展と合わせた関連企画としてワークショップ等を開催し、いろいろな視点で企画内容の周知や知識の浸透を行っている。また、館外活動なども積極的に実施し、広くモザイクタイルの魅力の発信に努めている。 令和4年度も令和3年度に引き続き、体験工房、ワークショップにおいて、人数制限や感染対策を徹底し実施しているが、コロナ明けに向け少しずつ制限緩和をしたり、来館が難しい方に対してSNS等を活用した発信を行うなど、状況に応じて柔軟に対応をしている。	30点				
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	適正に実施されている 施設周辺他施設と連携して月1回(第3木曜日)地域清掃を実施している	適正(普通) 2点	・掃除機、モップ等による清掃を毎日実施。 ・業者による床清掃(ワックス塗布)を年1回実施。 ・受付、事務所が常に整備されている。	10点			
			②保守・点検		適正に実施されている	適正(普通) 2点	照明、空調、給排水などの設備を日常的に点検。空調は、定期的にフィルターを取替えている。植栽等の剪定を適宜実施している。				
			③保安・警備		適正に実施されている	適正(普通) 2点	館内に監視カメラを設置し、作品の監視、来場者の安全を確保。防火管理有資格者を配置。				
			④小規模修繕		適正に実施されている	適正(普通) 2点	市への連絡も含め、適宜対応している。				
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		適正に実施されている	適正(普通) 2点	常に施設全体に目を配り、安全確保に努めている。				
		(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	10点			
			②環境への配慮		適正に実施されている	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古封筒や裏紙を使用。				
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点 収入 117,183,415 ÷ 支出 97,840,999 = 120%	105%以上 5点	事業収入に多治見市指定管理者緊急支援金を含む 1,463,765円 (R4.4～R5.3)	5点				
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	来場者へのアンケートを実施し、改善内容を適宜実施している。	期待以上 8点	・1階暖炉前にアンケートを常設し、来場者のニーズの把握に努めている。 ・要望等について、職員で情報を共有し、改善点を洗い出し、適切な対応を実施している。 ・アンケートの結果を集計し、企画展や展示方法など事業に反映している。 ・館内連携の2階産業振興フロアでは、来館者を含めたエンドユーザーへタイルの活用方法を提供できる場として、インテリアコーディネーターによるタイル相談会を開催。タイルの活用方法を視覚的わかりやすく提案している。	8点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情に対し、適宜対応された	苦情なし・適正(普通) 4点	メール等での苦情に対しても適宜対応している。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点 ・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスコミの取材年間256件(前年191件) ・細かなマニュアルの見直しや、視察等による職員研修の実施による接客の向上、業務改善の取り組みを実施。	期待以上 14点	マスコミの取材対応に丁寧な対応がなされた。多数の取材があり、旅行雑誌などでは、この地方の定番スポットとなっている。 取材対応件数、掲載数は大変評価できる。 また、モザイクタイルミュージアムが全国的に周知されることにより、美濃焼タイルの知名度や注目度の高まりもあり、タイルの新たな需要、産業振興に寄与している。	14点				
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし 減点なし	-	0点				
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり・減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	安定的に且つ継続的に運営するためにも、非常時におけるリスク分散の組織構築が必要である。	0点				
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 事業に関しては仕様書どおり大変良好に実施され、知名度、集客効果も十分図られている。	極めて良好		

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見

--